

第12回 東京湾海洋環境シンポジウム

「東京湾の底生生物群集の衰退」

開催日時： 2024年3月3日（日） 13:00～17:00
開催会場： 東邦大学 理学部5号館5101番教室
習志野キャンパス：船橋市三山2-2-1
https://www.toho-u.ac.jp/accessmap/narashino_campus.html
車での入場は不可です。公共交通機関を使ってください。
懇親会： 終了後に学外での懇親会を予定しています。
参加費： 無料、どなたでも参加できます。
ただし懇親会参加費は実費を徴収します。
共同開催： 東京湾海洋環境研究会、東邦大学理学部 東京湾生態系研究センター
協賛： 東京湾再生官民連携フォーラム
東京大学海洋アライアンス連携研究機構

開催の挨拶 13:00～13:05

風呂田 利夫（東邦大学、東京湾海洋環境研究会・会長）

第1部：13:05～14:45

高度成長期前のデータから読み解く東京湾生態系の生産形態の遷移と自然資本
野村英明（東京大学大気海洋研究所）

高懸念マイクロプラスチックの生物影響評価に関する研究～タイヤ粉じんの生態リスク評価～

仲山 慶（愛媛大学）・山崎雅俊・國師 恵美子・宇野誠一・田中厚資・
高橋勇介・田上瑠美・後藤哲智・国末達也・鈴木 剛（国立環境研究所）

海洋流出マイクロプラスチックによる汚染実態把握に関する研究～河川、海岸、河口
堆積物中マイクロプラスチックの物理化学的評価の試み～

鈴木 剛・田中厚資・天野敦子・板木拓也・宇智田 奈津代・高橋勇介
（国立環境研究所）

市民科学による生物調査プラットフォーム

熊谷直喜・小出 大・辻本翔平・池上 真木彦・西廣 淳（国立環境研究所）

（休憩5分）

第2部：14:50～16:30

三番瀬における青潮による生物の大量死
大越健嗣（東邦大学）

東京湾のベントス群集の変化—海の公園の10年間、三番瀬の5年間—
海上智央（株式会社 自然教育研究センター）・尾島智仁・尾島雅子・

坂本昭夫（海をつくる会）・福田武司（市川市漁業協同組合）・
野村英明（東京大学大気海洋研究所）・風呂田 利夫（東邦大学）

東京湾周辺施設職員に向けた、船橋三番瀬干潟での生物調査研修
小澤鷹弥（ふなばし三番瀬環境学習館）

東京都の行政データを活用した底生生物の経年変化
風間真理（環境カウンセラー）

おせっ会の2023年取りまとめ報告：全湾市民生物調査データ結果
風呂田 利夫（東邦大学理学部東京湾生態系研究センター）

第3部：16：30～16：50

総合討論（進行役：野村英明，東京湾海洋環境研究会）

閉会の挨拶 16：50～17：00

大越健嗣（東邦大学 東京湾生態系研究センター・センター長）

懇親会

懇親会情報は来場の際にお知らせします。

開催趣旨：

1996年から始まった「東京湾海洋環境シンポジウム」は12回目を迎えました。近年では市民科学の調査に着目して多くの活動を紹介してきましたが、そうした調査のなかで特に底生生物（ベントス）が広い分類群で衰退しているという声が聞かれるようになってきています。

そこで今回は、東京湾の底生生物群集の衰退に関して、青潮といった既知の事例を始め、生態系を支える生産形態の長期変遷、プラスチックに関連した化学汚染などの話題提供と、市民活動や沿岸自治体の関連施設等が行っている調査を紹介し、情報を共有します。

連絡先：

野村英明（東京湾海洋環境研究会）

東京大学大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター

04-7136-6368